

遠隔教育推進事業














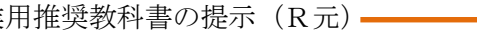
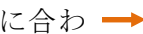
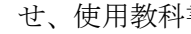
配信拠点型遠隔教育について

次世代型教育推進担当

1 目的

第2期教育等の振興に関する施策の大綱及び第3期高知県教育振興基本計画、並びに県立高等学校再編振興計画後期実施計画に基づき、小規模高等学校等に遠隔教育システムを導入して遠隔授業配信センターから授業や補習を配信することにより、地理的条件や学校の規模に左右されず、難関大学への進学など多様な進路希望を実現できる教育環境の整備を図る。

2 運営体制・機器整備関係

	R 2	R 3	R 4	R 5
運営体制	遠隔授業プロジェクトチーム会  高知県教育センター次世代型教育推進担当  遠隔授業配信センター 			
遠隔教育システム等機器整備	15校  19校  高吾拠点の須崎総合高校、東部拠点の安芸高校への導入検討 小規模校等 幡多地域4校 (幡多農、中村、宿工、宿毛) ----- 生徒1人1台端末(児童生徒に12年間のGoogleアカウント配付) 活用研究  本格的活用 			
受信校数	10校 	11校 	14校 	16校 
実施教科	数学・理科・英語  情報 追加 			
その他環境整備	遠隔授業用推奨教科書の提示(R元)  同時配信科目数の拡大に合わせ、使用教科書統一を進める  校時程のゆるやかな統一(R3)  R4からの教育課程において進学者用モデルを提示(R2)			

3 令和4年度遠隔授業配信センターについて

教育センター内に設置している遠隔授業配信センターには、遠隔授業担当の専任教員5名(数学3名、英語2名)、そのうち管理職員として副校長及び主幹教諭を配置。また、理科については時間講師2名(物理、生物)を配置

4 遠隔教育の実施状況(令和4年度)

(1) 遠隔授業の実施状況

- ・14校延べ57人に対し21講座(週65時間)の単位認定を伴う遠隔授業を配信(計1639回)
- ・受信校…室戸高校、中芸高校、城山高校、嶺北高校、吾北分校、高岡高校、佐川高校、窪川高校、檮原高校、四万十高校、大方高校、西土佐分校、宿毛高校、清水高校
- ・数 学…数学I、数学A、数学II、数学B、数学III(5科目、11講座)※数学IIIは2校同時配信
- 理 科…物理(2講座)※うち1講座は2校同時配信、生物(1講座)
- 英 語…英語表現I、英語表現II、コミュニケーション英語II、英語会話(4科目、7講座)

(2) 授業以外の活用(補習等の状況)計144回 18校が活用

① 大学進学対策補習

- 3年生(数学・物理・英語):5校13名20回、2年生(数学):4校25名18回、
- 1・2年生(英語):5校43名18回

② グループワーク型受験対策補習（3年生対象）：4校10名3回

③ 英語資格試験2次試験対策補習（全学年対象）：8校30名40回

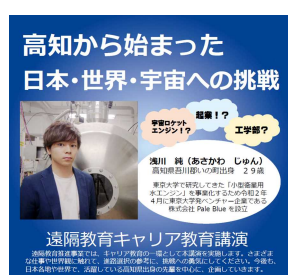
④ 公務員試験対策補習（全学年対象）：17校延べ121名34回

※令和4年度から安芸高校、須崎総合高校へ配信、2校を加えた総計は19校142名

⑤ 危険物取扱者資格試験対策補習（全学年対象）：4校21名11回

5 キャリア教育講演会

遠隔教育推進事業の一環として、令和2年度から、中山間地域の小規模高校等に対してキャリア教育講演会を開催している。講師には、高校生が10年後の自分の姿をイメージできるよう、ロールモデルとして、本県出身者を中心に日本や世界で活躍する20代後半の方を招聘してきた。生徒は、チャレンジ精神をもち、自己実現を果たしている講師の生き方に共感し、挑戦への勇気を得ている。



第1回(R2.12.22) 浅川 純



第2回(R3.4.20) 楠瀬まどか



第3回(R3.6.23) 小西 翔



第4回(R3.10.27/11.16)森田 眞麻



第5回(R4.4.27) 井上 有加



第6回(R4.6.21)中島さち子

令和4年度キャリア教育講演会

4月	林業女子会@高知 代表	井上 有加 さん	7校	38名参加
6月	音楽家、数学研究者、STEAM 教育家	中島さち子 さん	8校	88名参加
10月	禰原病院 医師	岩本 啓寛 さん	14校	43名参加

第7回（R4.10）の講演会からは、これまでのキャリア教育講演会の成果を広げるため、対象校を全ての県立高校等に拡大し、14校からの参加があった。講演後の質疑では「医師になって、思っていたこととは違うと感じることは何ですか」「医師としてこれからどのような姿を目指しますか」「大学の面接では何を聞かれましたか」など、自分の将来の姿と重ねてみたり、受験への課題解決に役立てようとしたりするなど、年齢に近い講師への素直な質問が数多くあった。また、アンケートには「決断する力を身に付けたい」「これからの人生や、受験勉強を乗り越えていこうと思った」などの記述が多く見られ、学業に対するモチベーションの向上や将来の夢の実現につなげようとする様子が見られた。



講師：岩本 啓寛 さん
(いわちま よしひろ)

1995年高知市生まれ
高知道前高校から自治医科大学に進学し、現在、
医師3年目、今年度から禰原病院に勤務

今回の講演会では、医師を志すようになったきっかけ、高校時代に成績が伸び悩んだけれども思いを貫いたことや、現在、地域医療に従事する中で日々思うことなど、自身の経験からの学び、地域医療への思いなどを話しいただく予定です。

第7回(R4.10.26)岩本 啓寛